

原 沢 久 志 議員



全国学力テスト実施は 一層議論すべきではないか

問

全国学力・学習状況調査（Ⅱ全国学力テスト）について、次の事項を尋ねる。
(1) 結果は非公開と聞いたが、情報公開等を出された場合の対応は。
(2) 来年も行われる予定のテストの有害さについて、一層議論を深めることが求められているが、教育委員会としてどのように議論するのか。

答

教育部次長

(1) 数字としては一切公表しない。
(2) 子どもが（身に）付けるべき学力を（考慮し）、委員会としては執行していくべき。

子どもが身に付ける 学力を考慮し執行

きである。

調査結果を十分吟味し、児童・生徒一人一人のつまりずきの分析から始め、各学校の教育指導全体が適切であったかを見直し、改善に生かしてほしいと思う。

第2桜小建設の場合 補助金はいくらか

問

桜小学校のマンモス化解消について、次の事項を尋ねる。
(1) 保護者アンケート調査の概要と、未就学児の保護者や関係者等に対象を拡大する考えはないか。

(2) 通学区の境界地域は弾力的な運用に努めると、合併時につたわれている。具体的に今後どう検討し、

どういう立場で進もうとしているのか。

(3) 第2桜小を建設した場合、建設費は約33億円の見込みと説明されている。

（学校建設は）3年間かかる可能性があるという。

3年以内に解消しないと、特別教室を普通教室化しなければならぬ。今からヒアリングを同時進行すべきではないか。

またどの程度、国補助金が出るか、と見ているのか。

答

教育部次長

(1) 12月5日に児童を通じて、桜、十四山西部小学校区の保護者に依頼した。
対象者の拡大は考えていない。

(2) 区域を超えて（学区を）選択制にした場合、児童・生徒数を均等にすることが困難となるので、現在のところは考えていない。

建設費の20%と試算している

答

市長

(3) 本場にスピードを持って、かつ慎重に事を進めている。

しかし現在、県と直接的な交渉はしていない。

補助金は事業費に対する20%という試算を持っている。



▶マンモス化が懸念される桜小学校